

まちかど文化芸術プログラム 検討委員会

第2回会議

2025年11月18日

目 次

1. 第1回会議の主な意見
2. 市民アンケートの結果
- 3 プログラム骨子(案)について
- 4 第2回会議における意見交換の論点
- 5 今後のスケジュール

第1回会議の主な意見

論点	意見
実施場所	・屋外は、夏は暑く、雨天時や雪の時期は難しい。
	・金沢の強みは、まちそのものが文化資源であること 商店街や公園などまちなか全体が舞台と見たてられると、気軽に文化に触れられる機会を提供できる。
	・場所の分散としていずれ中心部から少し離れた郊外での実施も検討して良いのでは
開催頻度	・月に1回程度が望ましい。
	・日程や場所が定まっていることが重要。 年間を通じて定期的な開催スケジュールを出すのも面白い。
	・12月から2月は観光客も落ち込み時期の分散の検討も必要である。
対 象	・学生をはじめとした若い方たちが、文化芸術を目的としてまちなかへ足を運びたくなるような取り組みがあるとよい。
内 容	・生の音に触れてもらいたい。
	・季節ごとにテーマを設けるのもよい。 ジャンルを設けて年間プログラムとして公開していくのも面白いのではないか。
	・「文化芸術」は幅広い。文化芸術であれば工芸も含まれていないとおかしい。
	・伝統的なものに新しい風を入れられるとよい。
	・イベントをゼロから生み出すのも大事だが、今あるものを活用するのも良い手段だ。

第1回会議の主な意見

論点	意見
金 額	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金を払ってきてくれる方を少しでも増やすことが大事。 無料の公演のお客さんを、有料の公演につなげることは難しい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金銭的な余裕の有無に関わらず、どんな状況でも文化というものに触れる機会は、是非とも提供すべきだと思う。
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動維持については、ゲント市の事例にあった、ジャムセッション会場でのビールの売り上げで運営費を賄うような形も考えられる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれホールに足を運んでもらうための「気軽に親しむことができる環境」というのは、非常に良いことだと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手育成の観点から担い手への支援を検討することで、金沢らしさ、文化都市としての価値が上がるのではないか。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自前のプラットフォームをどう魅力的に発信するか、使ってもらうかが課題。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブランディングイメージとキーワードをしっかりと作り上げるのがよい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ バーチャルで文化芸術の空間をつくるとおもしろい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報は、誰が編集するかが大事になる。影響力のある人が紹介することで、傾向や面白さがあるといったページや仕組みがあるとよい。

2 市民アンケートの結果

(1) 実施期間と方法

実施期間： 9月17日(水) ～ 10月16日(木) (30日間)

方 法 ： 金沢市電子申請サービスによる回答 (無記名で実施)
金沢市eモニターによる回答

広報媒体： 新聞広報、金沢市公式LINE、金沢市ホームページ 等

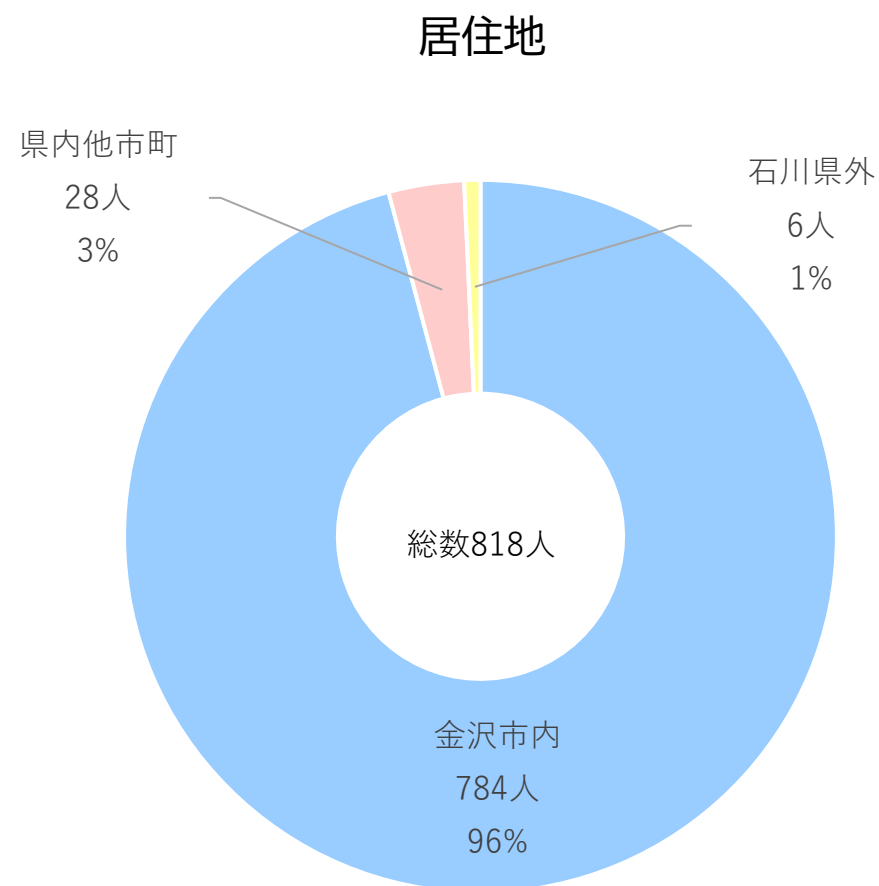
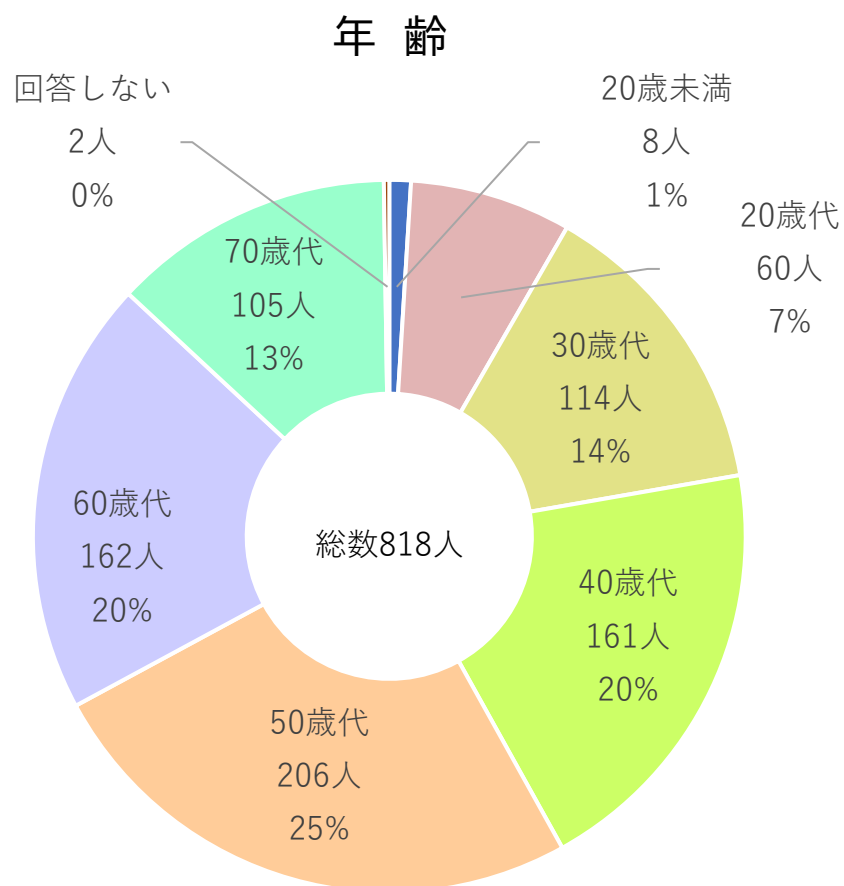
(2) 回 答 数 818件

2 市民アンケートの結果

(3)回答者の属性、文化芸術の鑑賞・体験の頻度

年齢 概ね多様な世代より偏りなく回答

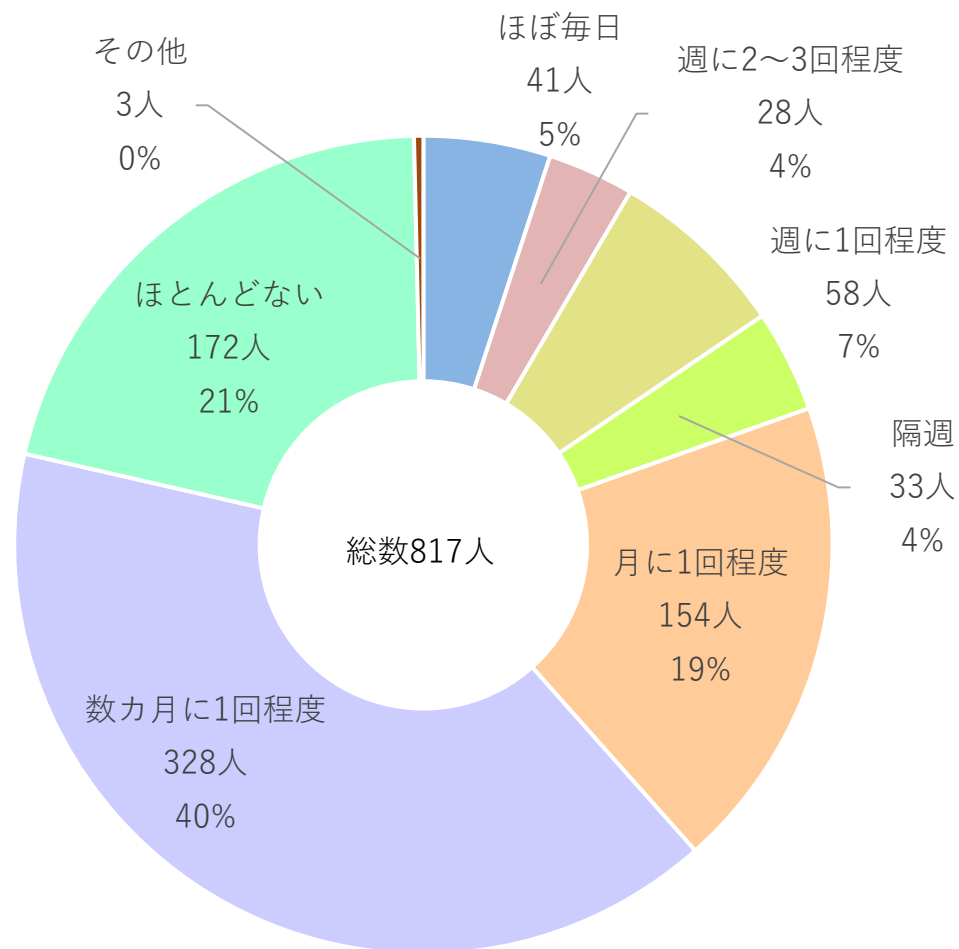
居住地 「金沢市」の方からの回答が9割超



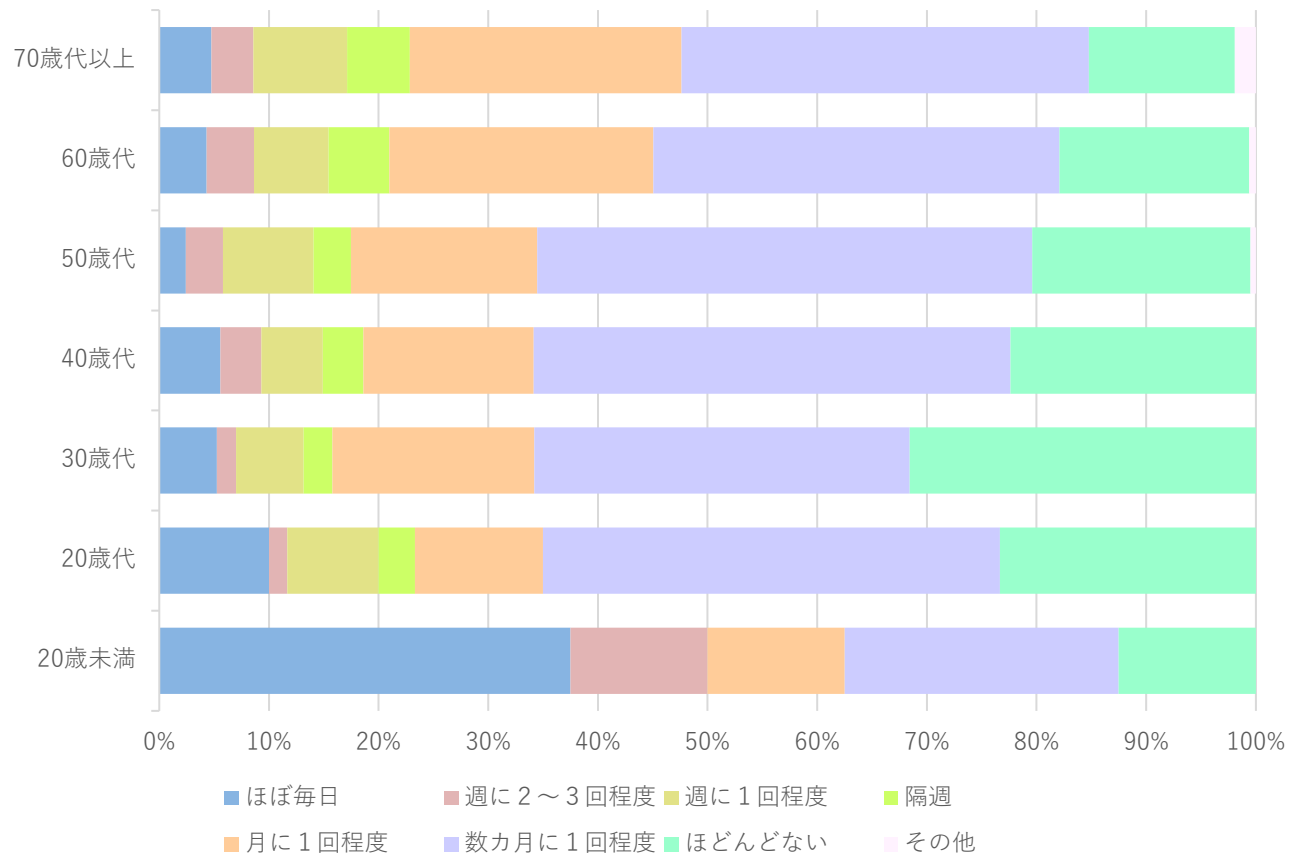
2 市民アンケートの結果

鑑賞・体験頻度

月に1回以上文化芸術を鑑賞・体験すると回答したのは、約4割



(年齢×鑑賞・体験頻度)

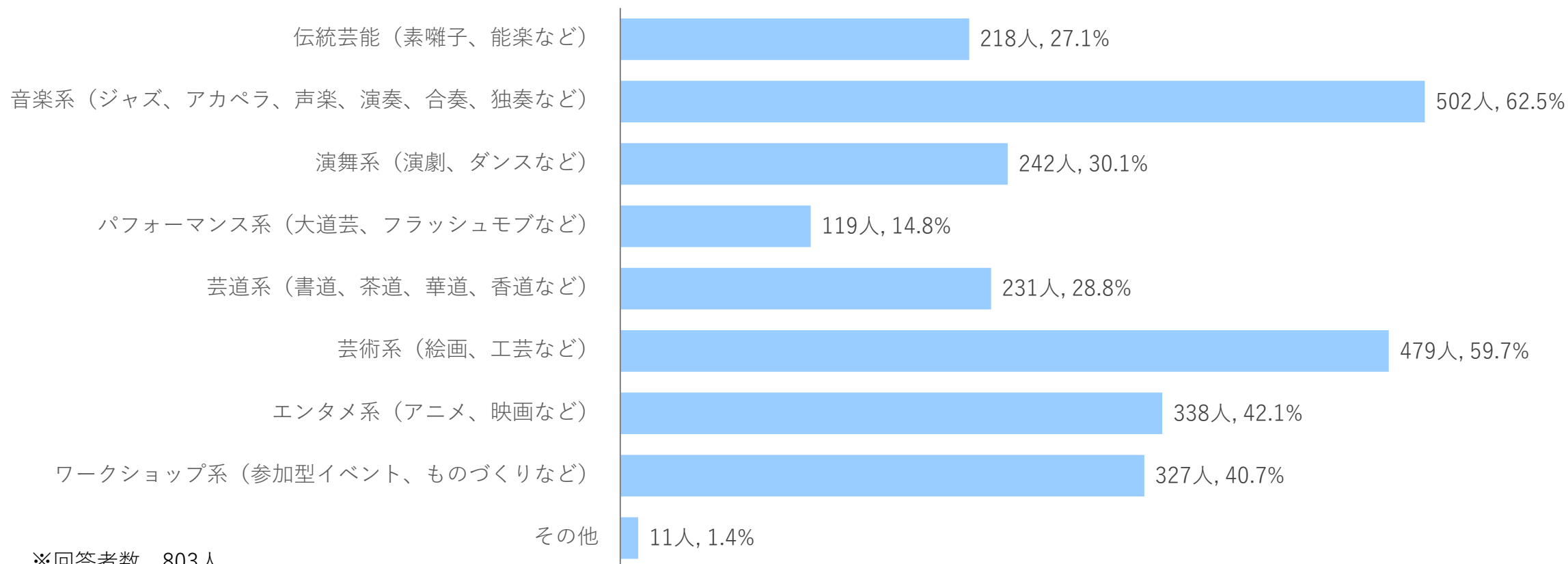


2 市民アンケートの結果

(4) 芸術文化の内容、開催場所・方法、価格、情報収集の方法

興味のある文化芸術の内容

音楽系が最も高く、次いで芸術系が高い。



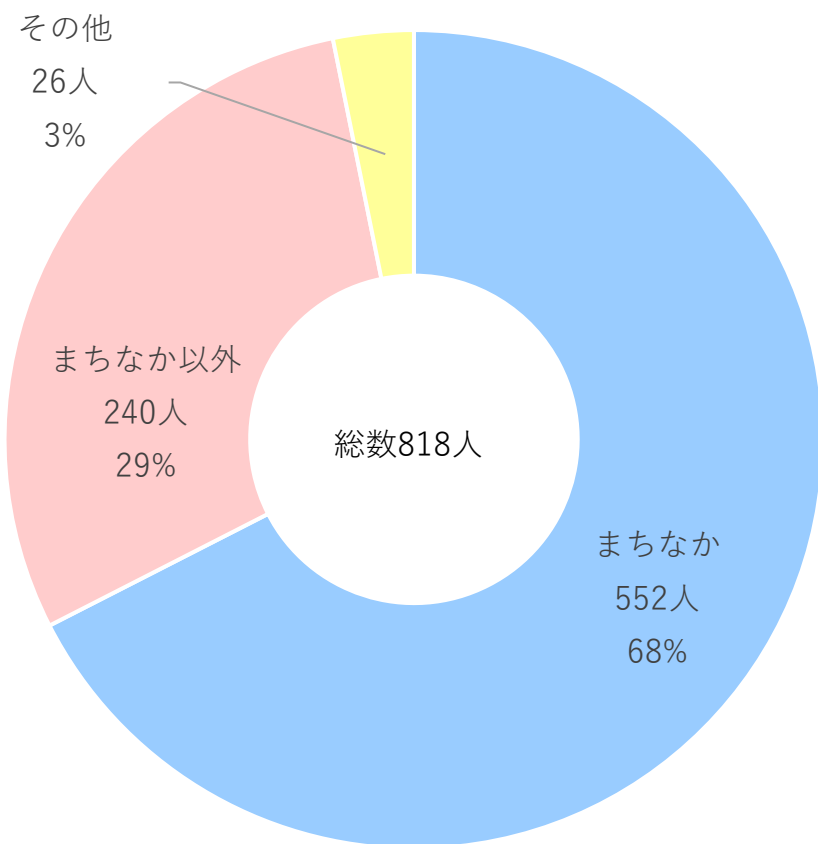
※回答者数 803人
※最大5つまで選択可

2 市民アンケートの結果

望ましい場所

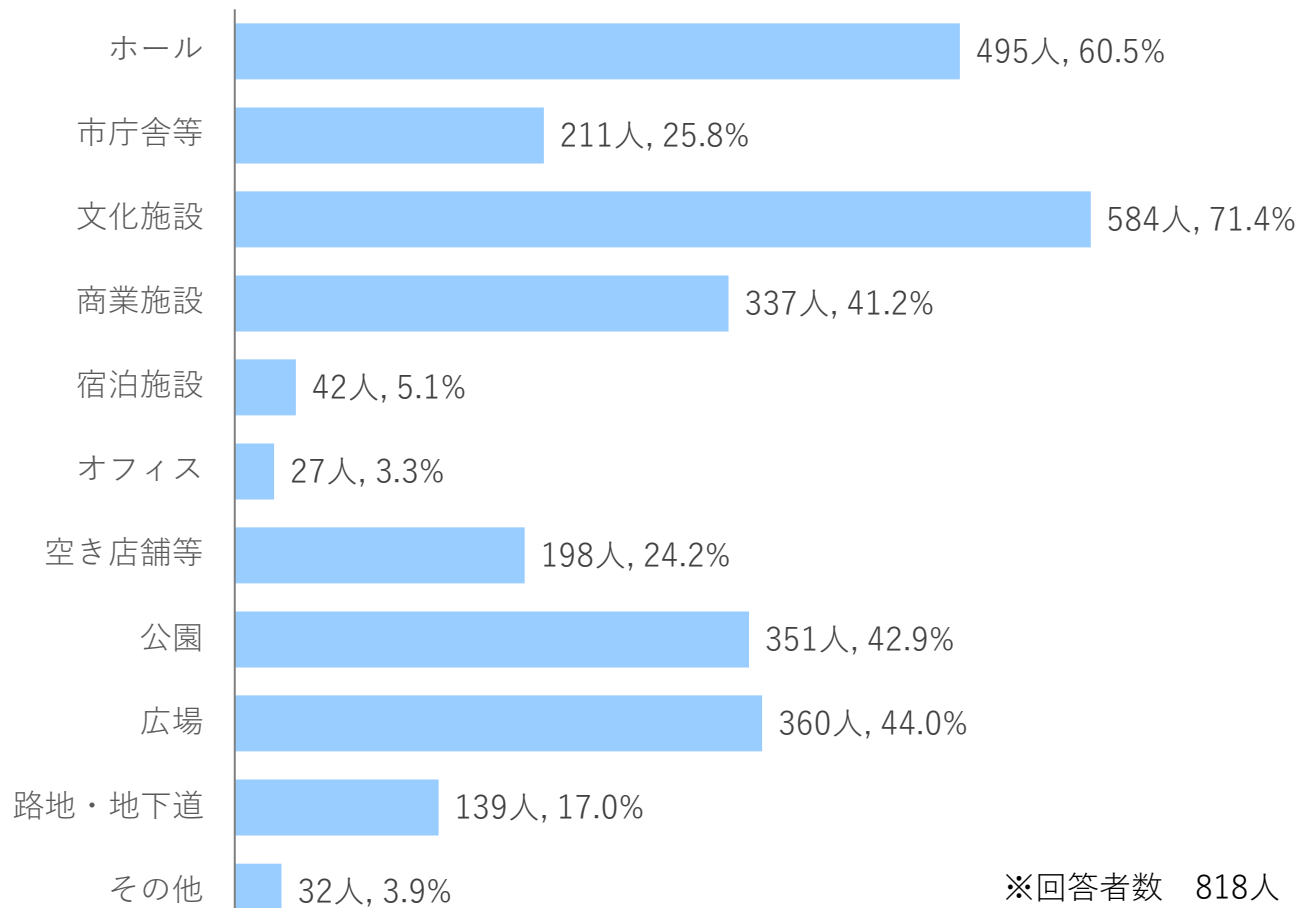
まちなかを望む方が約 7 割

金沢駅～武蔵が辻～南町～香林坊～片町にわたるエリアを「まちなか」として回答



望ましい会場

文化施設が 7 割強と最も高く、次いでホールが 6 割強である
広場、公園、商業施設が 4 割程度

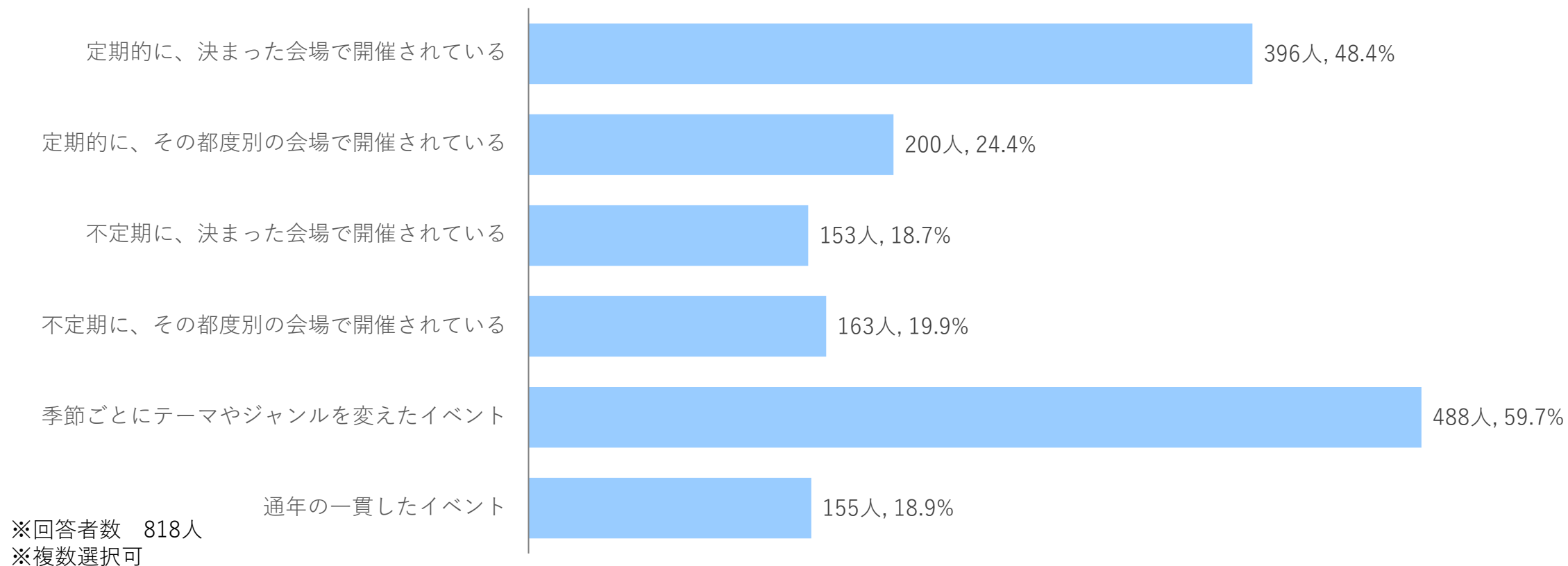


※回答者数 818人
※複数選択可

2 市民アンケートの結果

開催方法

季節ごとにテーマやジャンルを変えたイベントを望む回答が約6割と最も多い。
定期的に決まった会場で開催されることを望むのは、約半数。



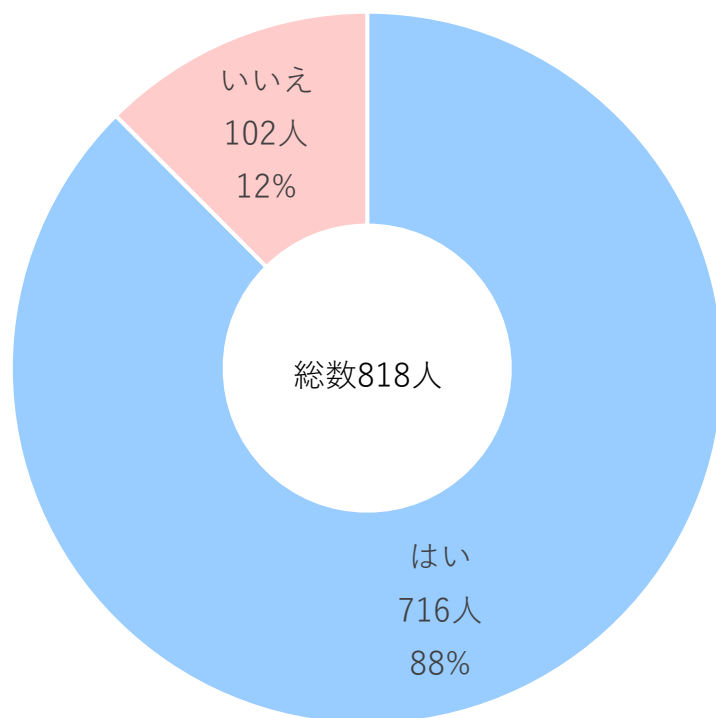
2 市民アンケートの結果

価格

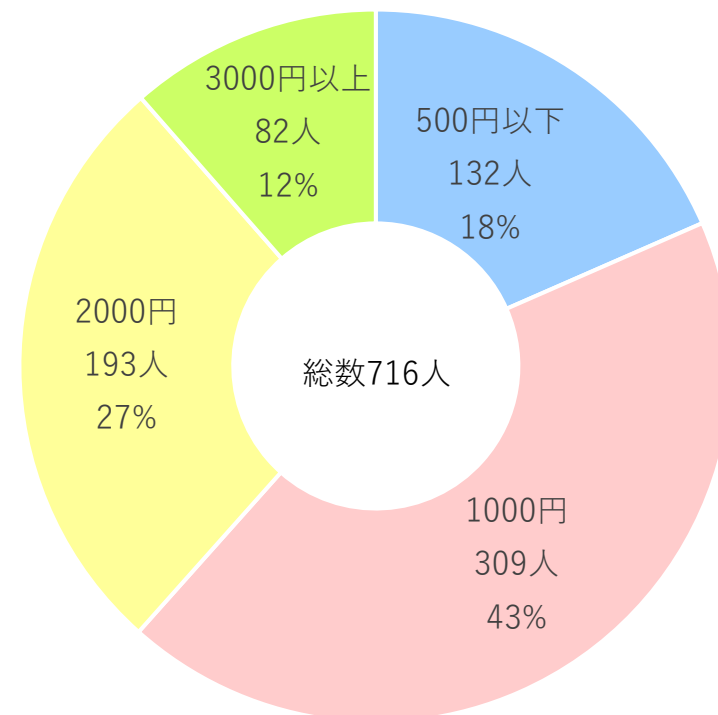
有料でも鑑賞したいと回答した方は、約 9 割である。

鑑賞・体験に支払いたい金額は、1,000円の回答が 4 割強と最も高く、2,000円が 3 割弱と続く。

有料でも鑑賞・体験したいか



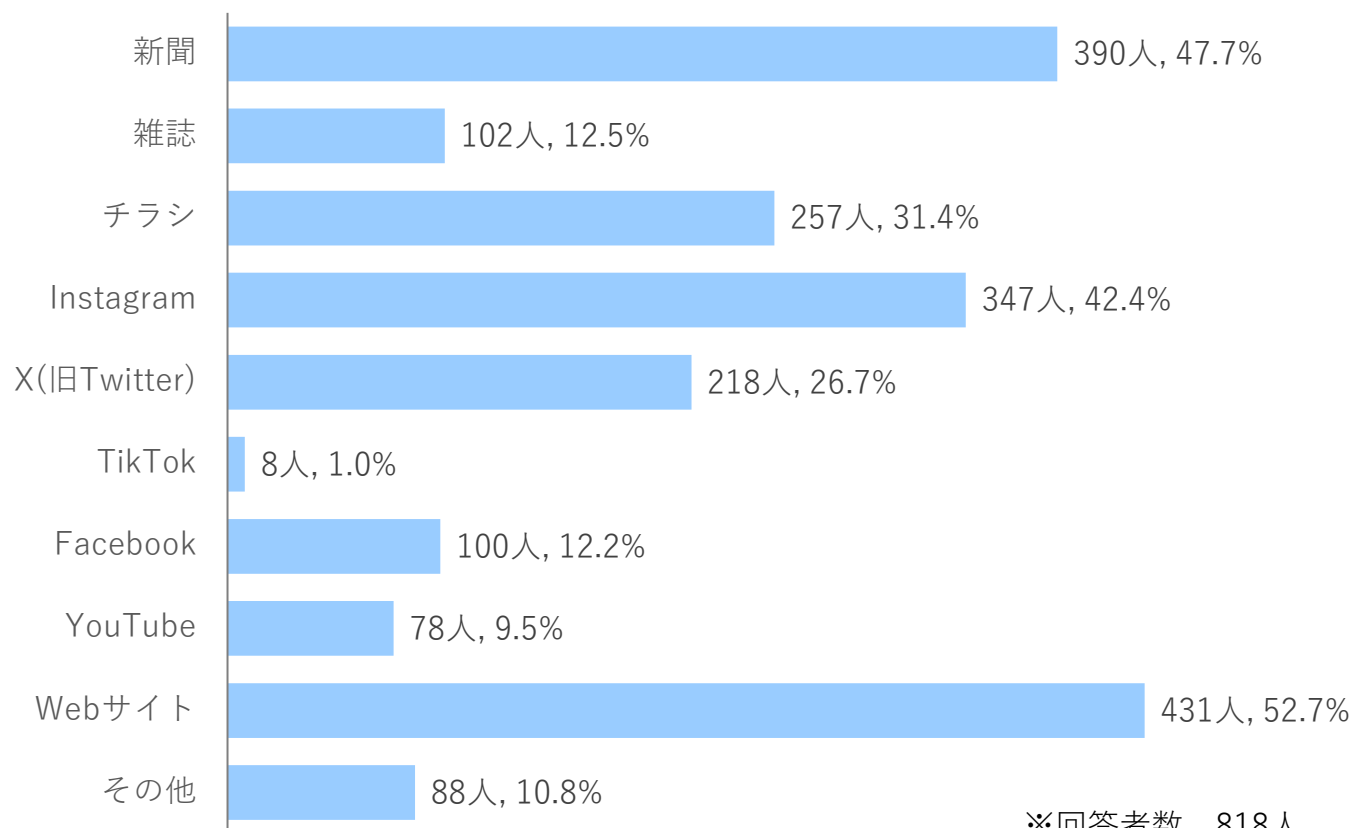
いくらまでなら鑑賞・体験したいか



2 市民アンケートの結果

情報収集

Webサイトが最も高く 5 割強、新聞、Instagramと続く。SNS等のウェブサービス、チラシ等の紙媒体ともに一定程度の回答があり、媒体に応じた情報発信が重要といえる。



その他の主な回答

・金沢市公式LINE	22人
・口コミ	13人
・テレビ	9人
・ポスター	2人
・フリーペーパー	2人

等

※回答者数 818人
※複数選択可

2 市民アンケートの結果

(5)自由意見(記述式)

イベントの内容に関して音楽系やワークショップ系を求める意見や、会場として雨天可能な場所での開催を求める意見が多く寄せられた。

No	項 目	件 数
1	イベント・展示の内容（音楽、ワークショップ、伝統芸能、複合 等）	125
2	会場（雨天可能、まちなか、ホール、空き施設 等）	61
3	アクセス・公共交通（駐車場、割引、シャトルバス 等）	43
4	ターゲット（子ども・子連れ向け、大人向け 等）	38
5	情報発信（情報一元化、SNS活用、事前周知、LIVE配信 等）	31
6	出演者（有名アーティスト、地元団体の機会、若手支援 等）	24
7	時期・時間帯（時期季節の分散、平日、夕方以降、仕事帰り 等）	23
8	価格・サービス（低価格、二重価格、周辺施設との連携割引 等）	23
9	仕組み（コーディネーター、交流、スタンプラリー 等）	4
10	分類不能な意見、その他の個人的な意見	32

その他意見（自由記載欄）記載の358件を分類。複数の内容がある意見は最大3項目まで分類。

3 プログラム骨子(案)について

未来共創計画 「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」 ～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

各分野への横断的視点

本市の
文化を強みに多様な分野への活用

若い世代、民間事業者、移住者など、地域に関わる
多様な人々の視点や活力の活用

あらゆる分野における
デジタル化の推進



4 基本方針

基本方針 1 世界に誇る
伝統と創造の
文化が息づくまち
～魅力づくり～

(1) 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実

- ・文化芸術に触れる機会の充実
- ・デジタル技術を生かした文化の共有
- ・文化芸術に関わる多様な主体の活動支援
- ・文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進 など

(2) 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展

- ・伝統文化の担い手・支え手の育成
- ・金澤町家や用水など伝統あるまちなみの継承・向上
- ・文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上 など

(3) まちの品格を高める新たな文化の創造

- ・歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力創造
- ・仕事・学び・暮らしの中で文化を身近に感じ教養を高める環境の創出
- ・スポーツ文化、建築文化、木の文化など多様な文化の振興 など

(4) 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上

- ・住む人と訪れる人がまちの価値を共有し共に高めていく機会の充実
- ・歴史と伝統に裏打ちされたほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進
- ・世界が認める食文化と金沢クラフトの発信
- ・来街者の満足度を高める受入環境の充実・強化と交流の促進 など

各分野への横断的視点

本市の文化を強みに多様な分野への活用

若い世代、民間事業者、移住者など、地域に関わる多様な人々の視点や活力の活用

あらゆる分野における デジタル化の推進

基本方針 2 多様な人々が
共生し、心豊かに
暮らせるまち
～暮らしづくり～

(1) 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成

- ・民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による地域コミュニティの活性化
- ・地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進
- ・持続可能なコミュニティを支える基盤の強化 など

(2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現

- ・豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚
- ・人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進
- ・年齢や性別、障害の有無、国籍などに関わりなく多様性を認め合う共生社会の実現
- ・デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化 など

(3) 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進

- ・未病対策の推進と健康を守る環境の整備
- ・医療体制の充実と健康危機管理体制の強化
- ・文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進 など

(4) 人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成

- ・ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進
- ・ごみの減量と資源循環の推進
- ・自然環境の保全と次世代への継承 など

基本方針 3 共に学び、
未来を創る人を
育むまち
～人づくり～

(1) 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援

- ・地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実
- ・すべての子どもの健やかな成長の支援
- ・教育・福祉の連携による総合支援体制の強化 など

(2) すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践

- ・特色ある教育モデルの構築と実践
- ・誰一人取り残さない子どもの学びへの支援
- ・魅力ある教育施設の整備と学習環境の充実 など

(3) 学都の強みを生かした次代の担い手育成

- ・学生のまちへの愛着の醸成
- ・未来を担う若い世代の社会参画の促進
- ・高等教育機関との連携による人材の輩出と学術活動に資する基盤・施設整備 など

(4) 学びの文化の形成と情操教育の推進

- ・地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実
- ・生涯を通じて学び続ける環境の整備
- ・文化芸術体験による豊かな心と創造力の育成 など

3 プログラム骨子(案)について

【未来共創計画】

【基本方針①】

世界に誇る伝統と創造の文化が
息づくまち～魅力づくり～

【施策方針1】

誰もが文化芸術に親しむことが
できる環境の充実

【主要施策 ①】

文化芸術に触れる機会の充実

【主要事業 1】

年間を通じたまちなかでの文化・
芸術体験の推進

【方向性】

1. まちかどで気軽に文化芸術の鑑賞・体験を楽しむ
機会の創出
【観る人への支援】

2. 文化芸術活動を行う人達
への発表機会の提供
【演じる人への支援】

3. 伝えたい人たちに届く
情報発信の充実
【両方への支援】

【プログラム】

【まちかどイベントの創出】

- ①特定の場所において文化芸術
イベントを定期的を実施

- ②施設・会場の空き情報を提供し、
希望者を募り公演を実施

【効率的な情報発信】

- ポータルサイトの構築・運営
- ・公的イベント情報の集約化
- ・民間イベントを含んだ情報発信
(AIによる情報収集・登録制の実施)
- ・施設の空き情報の一元化

3 プログラム骨子(案)について

○方向性

市民や来街者が、まちなかの「まちかど」において文化芸術に触れることで、文化芸術への興味関心をより一層高めるとともに、まちの賑わい創出につなげ、誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実を図る。

1. まちかどで気軽に文化芸術の鑑賞・体験を楽しむ機会の創出

2. 文化芸術活動を行う人達への発表機会の提供

3. 伝えたい人たちに届く情報発信の充実



プロ、セミプロを中心とした質の高い文化芸術を、
まちなか中心部で提供し、気軽に楽しむ機会を創出する

3 プログラム骨子(案)について

○方向性

1. まちかどで気軽に文化芸術の鑑賞・体験を楽しむ機会の創出

- ・ 金沢駅～都心軸～片町を中心とした「まちなか」エリアのまちかどで実施し、賑わいを創出
- ・ まちかどでふらっと気軽に参加できるようなプログラムの実施
- ・ 気軽に楽しめる料金設定や支払方法の導入
- ・ 文化芸術の入口とし、ホール等で開催される本格的な公演等へ誘導

※「まちかど」とは：まちの特定の場所やそこで繰り広げられる日常の光景

3 プログラム骨子(案)について

○方向性

2. 文化芸術活動を行う人達への発表機会の提供

- ・ 多種多様な文化芸術団体やプロアーティスト等への
発表機会の提供
- ・ アーティストの知名度向上と魅力発信
(本格的な公演を開催する際の集客につなげる。)
- ・ 芸術価値やアーティストの活動に対して対価を支払う機運を醸成

3 プログラム骨子(案)について

○方向性

3. 伝えたい人たちに届く情報発信の充実

- ・ 情報を求めている人に確実に届くような仕組みや、
閲覧当日のイベントが優先的に表示される仕組みを構築
- ・ 様々なウェブサイトに掲載されたイベント情報を集約化
することにより利便性を向上

大津市イベント情報集約サイト
AIを活用したイベント情報の自動収集を行う

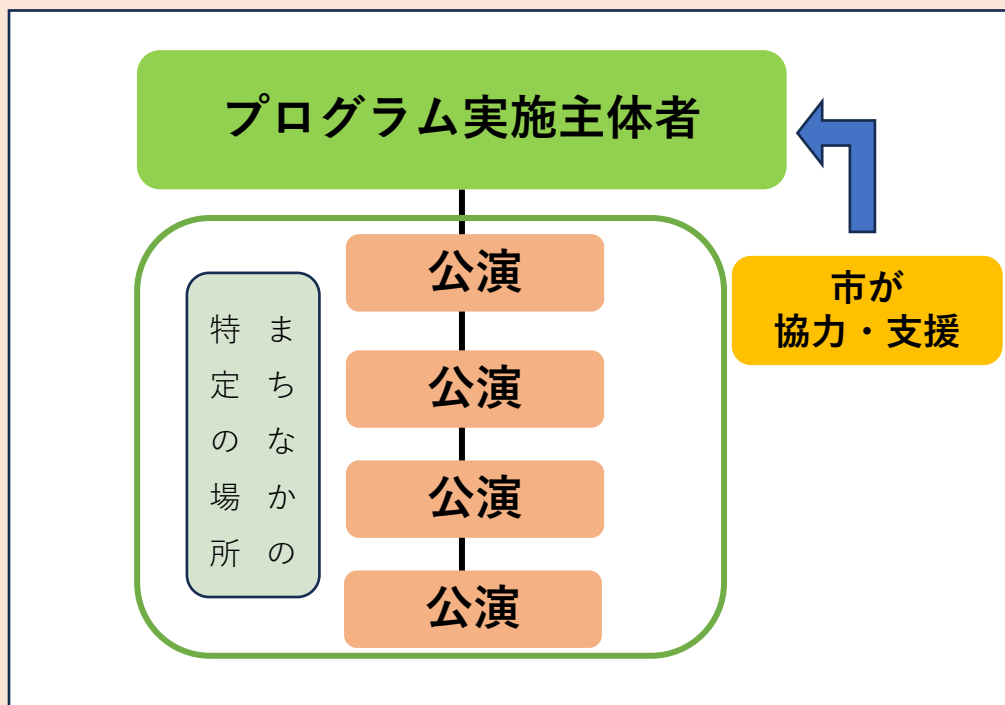


3 プログラム骨子(案)について

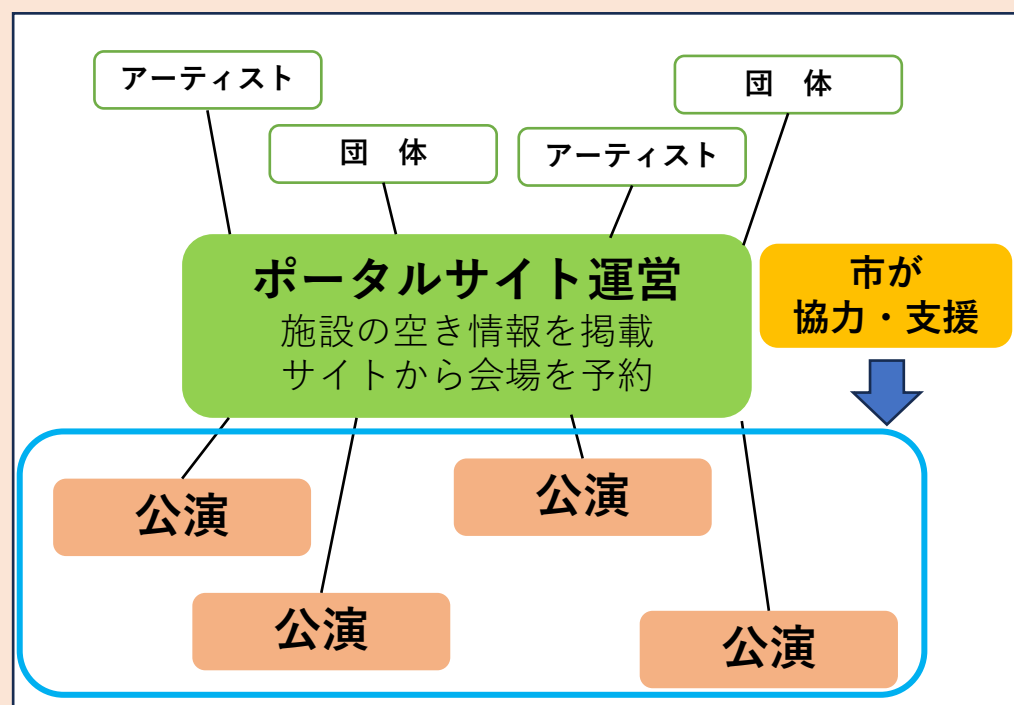
【プログラム案のイメージ】

【まちかどイベントの創出】

【イメージ1】 まちなかの特定の場所において
文化芸術イベントを定期的を実施する



【イメージ2】 ポータルサイトにて施設・会場の
空き情報を提供し、希望者を募り公演を実施する



3 プログラム骨子(案)について

○プログラムの実現に向けた行程

	【モデル事業】 1年次目	【モデル事業】 2年次目	【本格実施】 3年次目以降
	触れてもらう オープンな場所	モデル事業の内容 を拡充	金沢らしい プログラム
頻度	複数回	内容の拡大	本格実施
場所	屋外（屋根有・無）・屋内 （片町きらら・近江町いちば館・ もてなしドーム地下イベント広場・ 明治安田ヴィレッジ 等）		
金額	無料～ワンコイン		

3 プログラム骨子(案)について

【モデル事業】 1年次目～2年次目

- ・ プロアーティスト等を中心とした質の高い文化芸術を、まちかどで気軽に体験できるプログラムを実施
- ・ 場所：屋外（屋根有・無）や屋内での実施を想定
（片町きらら・近江町いちば館・もてなしドーム地下イベント広場 等）
- ・ 金額：無料や1,000円以下の低廉な料金を設定



3 プログラム骨子(案)について

【本格実施】
3年次目以降

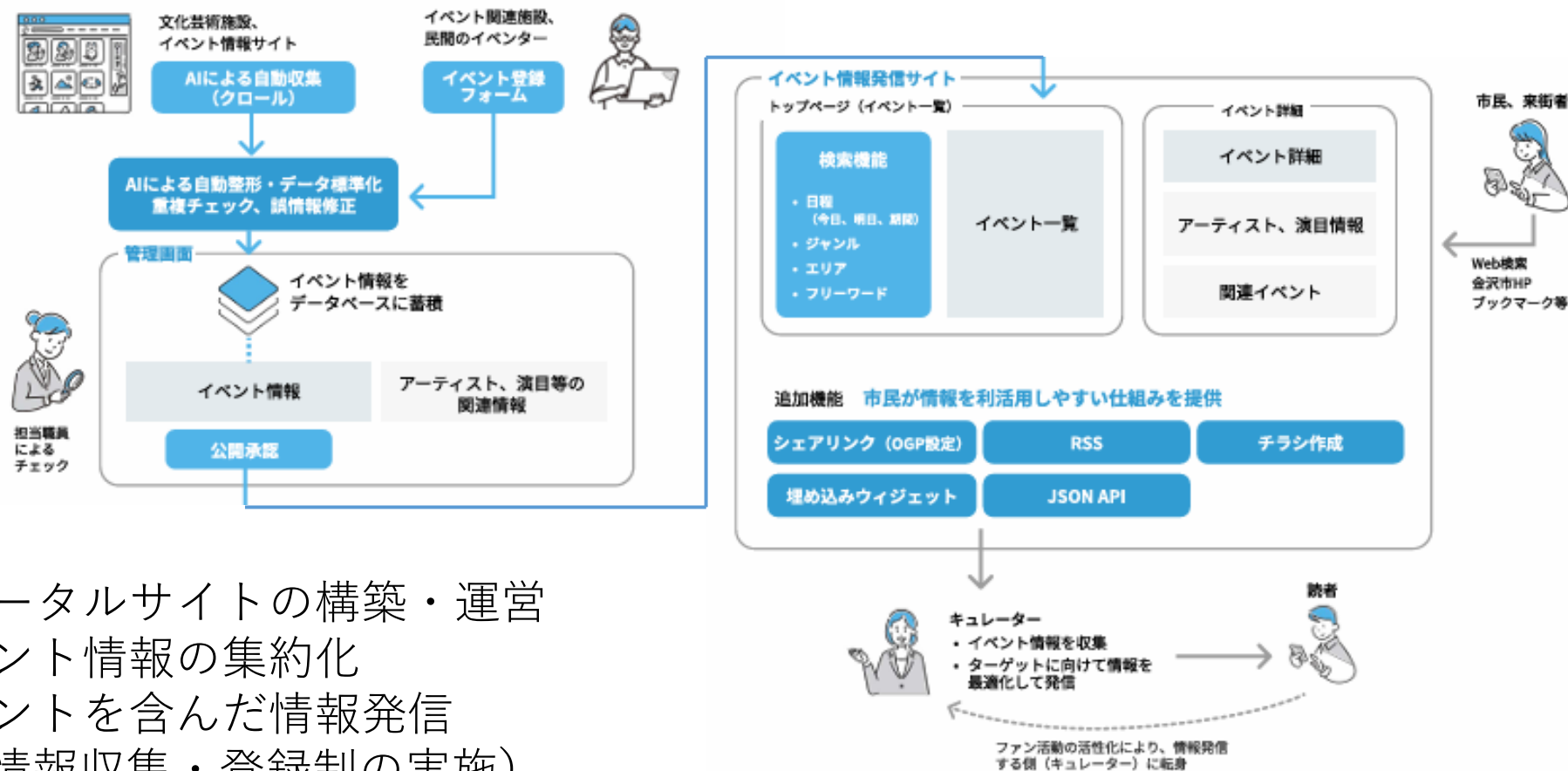
モデル事業の実施を受けて、時期や開催場所、公演内容を検討し、プログラムの本格実施を行う。

【本格実施後の検討事項】

- ・ 開催時期を検討し、年間を通して文化芸術を気軽に体感できるプログラムを目指す
- ・ 当面、金沢駅～都心軸～片町を中心とした「まちなか」エリアのまちかどで実施
(事業が軌道に乗った後、エリア拡大を検討)
- ・ ポータルサイトの構築及び運営

3 プログラム骨子(案)について

○イベント情報の収集・発信の仕組み



市によるポータルサイトの構築・運営

- ・ 公的イベント情報の集約化
- ・ 民間イベントを含んだ情報発信 (AIによる情報収集・登録制の実施)
- ・ 施設の空き情報の一元化

4 第2回会議における意見交換の論点

- プログラム骨子(案)に加えるべき視点、役割、内容

など

5 今後のスケジュール

年 月	会議等	内 容
令和 7 年 9 月～10月	市民アンケート	・ 回答内容の集計及び分析
(本日)	第 2 回検討委員会	・ プログラム骨子（案）について
令和 8 年 1 月頃	第 3 回検討委員会	・ プログラム（案）とりまとめ